

「ほっかいどう学」の学びを考えるシンポジウム2018

～Let's learn Hokkaido～

- ・日時 平成30年3月14日(水) 13:30～16:30
- ・場所 札幌エルプラザ 3階ホール

プログラム

◇開 会

◇主催者挨拶

北海道開発局開発監理部次長 倉内 公嘉

◇事務局説明

「ほっかいどう学」の概要、取組状況等について
北海道開発局開発監理部開発調査官 遠藤 昭彦

◇基調講演

北前船と北海道～北海道のルーツと北前船の遺産～
小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門
地域経済研究部学術研究員 高野 宏康 氏

◇事例報告

札幌らしさを学ぶ小学校における雪学習の推進～雪のカリキュラム・
マネジメント～
札幌市立屯田北小学校教務主任 朝倉 一民 氏

◇パネルディスカッション

多様な学びの場への「ほっかいどう学」の可能性について
(パネリスト) (※五十音順)

- | | |
|--|---------|
| ・札幌市立屯田北小学校教務主任 | 朝倉 一民 氏 |
| ・札幌市立屯田小学校校長 | 新保 元康 氏 |
| ・小樽商科大学グローバル戦略推進センター
研究支援部門地域経済研究部学術研究員 | 高野 宏康 氏 |
| ・札幌国際大学観光学部教授、
NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長 | 吉岡 宏高 氏 |
| (コーディネーター) | |
| ・一般財団法人北海道開発協会
開発調査総合研究所 理事・所長 | 草刈 健 氏 |

◇閉 会

■主 催：国土交通省北海道開発局、一般財団法人北海道開発協会

■後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道社会科教育連盟、
札幌市社会科教育連盟、公益社団法人土木学会北海道支部

★ 本シンポジウムは、公益社団法人土木学会の継続教育（CPD）プログラムに認定されています。（認定番号：JSC E18-0076）



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

講師及びパネリスト プロフィール



小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門地域経済研究部学術研究員

たかの ひろやす
高野 宏康 氏 (講師・パネリスト)

石川県加賀市出身。博士(歴史民俗資料学)。専門は近現代史、地域資源論。国立歴史民俗博物館機関研究員を経て2013年から現職。文部科学省・地(知)の拠点整備事業の一環として、小樽・後志地域の歴史文化の調査研究及び観光資源化に取り組む。小樽市歴史文化基本構想策定委員会調査部会長、小樽梁川商店街活性化委員会委員、おたる案内人マイスター。

著書：『北前船と小樽・後志～歴史文化のルーツを訪ねて～』(2016 小樽商科大学グローバル戦略推進センター、小冊子)ほか。



札幌市立屯田北小学校教務主任

あさくら かずとし
朝倉 一民 氏 (講師・パネリスト)

北海道札幌市出身。北海道社会科教育連盟、北海道NIE研究会所属。Intel Master Teacher、NIEアドバイザー。学校教育への雪の活用に取り組む「北海道『雪』プロジェクト」事務局長を務めるとともに、アクティブ・ラーニングやICTの活用など、教育の現場において先進的な取組を数多く実践している。

著書：『子ども熱中！ 小学社会「アクティブ・ラーニング」授業モデル』(2016 明治図書)、『板書&展開例でよくわかる 社会科授業づくりの教科書 3～6年』(2018 明治図書)ほか。



札幌市立屯田小学校校長

しんぼ もとやす
新保 元康 氏 (パネリスト)

北海道小樽市出身。札幌市立小学校や附属札幌小学校勤務を経て2017年から現職。北海道及び札幌市社会科教育連盟委員長。学校教育への雪の活用に取り組む「北海道『雪』プロジェクト」を設立したほか、交通環境学習の推進、校務支援システムの導入による校務の情報化など、教育の現場において幅広い分野でさまざまな取組を行っている。

著書：『元気を出そう北海道の教育』(共著、2009 北海道通信社)、『防災まちづくり・くにづくり学習』(共著、2015 悠光堂)ほか。



札幌国際大学観光学部教授、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長

よしおか ひろたか
吉岡 宏高 氏 (パネリスト)

北海道三笠市出身。日本甜菜製糖(株)、(株)たくぎん総合研究所を経て1997年まちづくりコーディネーターとして独立。2004年から札幌国際大学観光学部。空知産炭地域では、「負の遺産」と捉えられてきた炭鉱遺産を地域固有の資源として活用し、地域活性化を目指した活動を実践している。空知産炭地域活性化戦略会議委員長、産業観光検討会議委員長など100以上の公職を歴任。

著書：『明るい炭鉱』(2012 創元社)、『福島 農からの日本再生』(共著、2014 農山漁村文化協会)ほか。



一般財団法人北海道開発協会 開発調査総合研究所 理事・所長

くさかり たけし
草刈 健 氏 (コーディネーター)

山形県山形市出身。1976年苫小牧東部開発(株)に入社し、苫東工業基地の緩衝緑地づくりと緑地保全等に従事。1998年(財)北海道開発協会に入社。はまなす財団への出向を経て2015年6月から現職。苫東勇弘原野の保全と利活用を担うNPO苫東環境コモンズ事務局長。技術士(環境部門)。

著書：『林とこころ』(2004 北海道林業改良普及協会)、『コモンズ地域の再生と創造～北からの共生の思想～』(共著、2014 北大出版会)ほか。